

「心の拠り所」として  
在り続ける神社へ



氏子会長  
馬場 幸弘

今年には御創祀百二十年の大きな節目を迎えました。開拓の鋤がふるされてより、神社が建立され、今日に至るまで地域住民の「心の拠り所」とされてきました。春には豊作を願い、秋には収穫に感謝、神社のお祭りを通じて地域の絆を深めて参りました。昨今、伝統文化を継承していく環境は極めて厳しくなりましたが、みこし祭では、三世代揃っての笑顔をよく目にします。今の日本人が忘れかけている大切なものがそこにあるのではないのでしょうか。今後も浦幌神社が「心の拠り所」として変わることなく在り続けますよう皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。



夏季みこし祭 本神輿

浦幌町博物館  
神社百二十年の企画展開催

浦幌町博物館では、浦幌神社の御創祀百二十年を記念し、七月二十三日～十月二日までの期間、「浦幌神社の百二十年」と題して様々な企画展を行って下さいました。神社に残る資料や写真の展示、神社めぐり、夜学講座など、延べ約四五〇名の来場がありました。



愛知県稲沢市ボーイスカウト  
夏季みこし祭に参加

今年は夏季みこし祭にボーイスカウト稲沢第六団ベンチャー隊（愛知県）に所属する中島陸人君と山際凜君の二名（高一）がはるばる神輿を学習しに来町しました。すべて自分たちで企画実行するボーイスカウトの事業で、途中、台風の影響を受け、三日がかりで浦幌町に到着しました。当社では掃除、祭場準備、神輿の飾り付けをご奉仕。当日は神輿を担ぎ、各町内の接待を受け、人と人との繋りの大切さや温かさを感じ、有意義な体験をさせて頂きました。



リシマキア花の奉納

去る六月、石原英之様（万年）よりリシマキアの苗、五二五株をご奉納頂き、浦幌町空手道少年団の子供たちと保護者のご奉仕により、樹霊塔への参道脇に植栽致しました。リシマキアは、昨年植えたものと合わせて千株になり、開花が楽しみで



祭具調整費の奉納

去る六月、有限会社ネット代表取締役社長高田勝基様（幸町）より、御創祀百二十年を記念し、祭具調整費八万円をご奉納頂きました。三方七台・大角一台・被串一台の祭具を新調させて頂きました。

